

「辻幹雄11弦ギター『平和への祈り』コンサート」

いま鳴らそう、芝山から長崎へ平和の鐘を：

6月11日、福祉センターやすらぎの里を会場に行なわれた「辻幹雄11弦ギター『平和への祈り』コンサート」。そこには優しい11弦ギターの音色と、穏やかな時間が流れていました。

辻さんと芝山町の繋がり―

1994年4月。「音楽を通して心を一つにしよう」と、世界的に高い評価を受けるギターリスト辻幹雄さんは、住民や新東京国際空港公団（現・成田国際空港株式会社）などの有志とともに、滑走路南側の芝山の地で野外コンサートを開きました。空港と地域が揺れ動いていたあのと、11弦ギターの音色で人々の心が一つに寄り添い、共栄の道を歩むきっかけのひとりとなりました。

平和への願いを込めて

今回のコンサートツアーのテーマは「平和」。芝山町をツアーの出発点とし、7月2日の



来場者は11弦ギターの音色にくぎ付け

長崎まで、平和を繋ぐため全10都市で行われました。

演奏された「長崎の鐘」という曲は、原爆投下で自らも被爆しながら救護活動に尽くした医師、永井隆の著書をもとに11弦

ギターと朗読で完成した一曲。

詩の中には、原爆が投下され家族を失った悲しみや苦しみ、また、そこから立ち直っていく姿が描かれています。

優しく、心に響くギターの音色はおよそ140人の来場者を魅了しました。

コンサートを終えて (辻幹雄さん)

今回の長崎の鐘コンサートを始めようと決めたとき、空港の闘争から共生、共栄を果たした芝山町は平和を伝える地としてふさわしいと真っ先に思い浮かびました。そしてここを出発地点にするべきだと思えました。20年以上ぶりに芝山の方に聴いてもらえて素直にうれしかったです。今でも、日本は多くの悩みを抱えていることに間違いはありません。これからも自分の音楽で多くの人々に「平和」とは何かを伝えていきたいと思っています。



コンサートを開催するにあたり結成された実行委員会の皆さん

PROFILE

辻 幹雄

秋田県生まれ。昭和58年に11弦ギターと出会い、その奏者・作曲家として世界各地で活躍中。

※11弦ギターとは、6弦で構成されている一般のギターとは違い、6本の弦に番外弦として、さらに5本の弦が加えられているギターです。



第38回山武消防ポンプ操法大会

魅せる！ 消防魂

— 第2分団第5部 —



6月26日、蓮沼海浜公園を舞台に行われた第38回山武消防ポンプ操法大会。消防団員の誇りを胸に、洗練された消防技術を披露し、男たちの熱い戦いが繰り広げられました。

芝山町消防団は小型ポンプ操法の部に「第2分団第5部（高田東・高田西）」が出場。芝山町の代表として披露した華麗な操法演技で見事、準優勝を果たしました。

